



理工学部・国際パートナーシップ教育プログラムで 三島 伸雄 教授がウィーン工科大学を招聘により国際交流

【概要】

都市工学部門の三島 伸雄 教授が、理工学研究科・国際パートナーシップ教育プログラムで、本学の学術交流協定校であるオーストリア・ウィーン工科大学の学生 3 名を招聘し、国際交流を実施しました。本学からは理工学研究科の大学院生 6 名が参加し、有田町有田内山地区、鹿島市肥前浜宿、佐賀市内を視察して資料を収集するとともに、交流を行いました。

【本文】

都市工学部門の三島 伸雄 教授が、理工学部における国際パートナーシップ教育プログラムで、本学の学術交流協定校であるオーストリア・ウィーン工科大学の学生 3 名を招聘し、国際交流を行いました。理工学研究科の大学院生 6 名が参加し、有田町有田内山地区、鹿島市肥前浜宿、佐賀市内を視察して資料を収集するとともに、意見交換などを通じて交流を行いました。

理工学部では、長年にわたり、理工学研究科・工学系研究科および先進健康科学研究科の大学院教育として、国際パートナーシップ教育プログラムを組織的に実施してきました。本年度は、昨年 9 月にウィーン工科大学との大学間学術交流協定が締結されたことを受け、本プログラムとしては初めて、同大学から学生を招聘しました。

今回参加したウィーン工科大学学生は、Shirinoy Kungurova さん（ウズベキスタン出身）、Denys Kushnir さん（ウクライナ出身）、Armina Taulea さん（タジキスタン出身）の 3 名です。一方、本学からは、博士後期課程の野間 格さん、博士前期課程から Sazedul Islam さん、Shawn Daniel Bernard Kairupan さん、Pongthana Phattita さん、Carboni Sebastiano さん、城島 叶愛さんの 6 名が参加しました。

実施されたプログラムは、「環アジア国際研修プログラム（グローバル社会における文化多様性と歴史的環境の保全活用に関する建築・都市デザイン）」として、佐賀県内の歴史的な環境の保全とまちづくりを学ぶ内容でした。

学生たちは、2025 年 9 月 22 日にオープニングセレモニーで理工学研究科長・佐藤 和也教授の歓迎の挨拶を受け、記念品が贈呈されるなど、和やかな雰囲気の中で交流が始まりました。23 日には、有田町有田内山地区を訪問し、当地で活躍する建築家・清水 耕一郎 先生（アルセッド建築研究所）のガイドにより、有田の成り立ちや歴史、建物の特徴について学びました。有田とウィーンとの関係についても理解を深めました。

24 日には、三島 伸雄 教授の案内で、肥前浜宿について講義を受け、町の資料収集を行いました。25 日には、後藤 隆太郎 教授の自宅を訪問し、佐賀市柳町の建物改修事例を視察しました。26 日には、これまでの視察で得た学びを整理し、最終発表を行いました。発表会に

は、ウィーン工科大学 JASEC の Iris Mach センター長および Thomas Rief 上級講師がオンラインで参加し、活発な意見交換が行なわれました。

参加した学生たちは、5日間という短期間ながら、佐賀の歴史について濃密に学び、貴重な国際交流の機会を得ることができました。本学とウィーン工科大学との関係深化にもつながる、実りあるプログラムとなりました。



オープニング・セレモニー（9月22日）



有田町にて（中央が清水耕一郎氏，9月23日）



鹿島市肥前浜宿にて（9月24日）



佐賀市柳町（9月25日）



最終プレゼンテーション（9月26日）



ウィーン工科大学 JASEC とのオンライン発表会（9 月 26 日）